



社会基盤工学講座

教授  
たか はし ごういちろう  
高橋 剛一郎

農学博士  
(北海道大学・昭62)

■経歴

北海道大学農学部林学科卒(昭54.3) / 北海道大学大学院農学研究科博士前期課程(昭55.4～57.3) / 同後期課程(昭57.4～58.3) / 富山県立技術短期大学助手(昭58.4～平元.9) / 同講師(平元.10～2.3) / 富山県立大学短期大学部講師(平2.4～10.3) / 同助教授(平10.4～19.3) / 同准教授(平19.4～学校教育法改正による職名変更) / 富山県立大学工学部准教授(平21.4～22.3) / 同教授(平22.4～)

担当科目	ビオトープ論 / 環境情報解析 / 森林流域管理 / 流域保全学 / 測量実習 2
論文・報告	溪流環境の保全に関する砂防学的研究(学位論文) 1987 溪流環境の基本構造と保全(水利科学, 2001) 瀬-淵構造の区分とその分析方法(地形, 2003) Hyporheic flow as a potential geomorphic agent in the evolution of channel morphology in a gravel-bed river (Catena 2008) 庄川における湧水環境の意義と河川環境の保全について(土木学会論文集G 2009) 溪流環境の復元を目的に加えた治山事業の計画と施工 - 茂倉沢における試み - (砂防学会誌 2012) 治山ダム撤去による溪流環境環境の回復(砂防学会誌 2017)
著書	「知床の動物」北海道図書刊行会、1988年 「砂防学概論」鹿島出版会、1991年 「河川生態環境工学」東大出版会、1993年 「溪流生態砂防学」東大出版会、1999年 「陸水の事典」講談社、2006年 「新富山の水環境」TC出版、2009年 「図説日本の河川」朝倉書店、2010年 「野生生物保護の事典」朝倉書店、2010年
所属学会	砂防学会 / 日本地形学連合 / 日本林学会 / 陸水学会 / 応用生態工学研究会 / 土木学会
学会委員等	日本林学会中部支部会理事 / 応用生態工学研究会幹事 / 砂防学会誌編集委員

- 現在の研究課題
- ・自然環境保全と調和した砂防・治山工法の開発に関する研究
  - ・溪流における土砂移動、流路変動と溪流地形の解析に関する研究
  - ・河川における地形の特徴と生物との関係(瀬-淵の形成やその特徴と水生生物の関係、河川地形と周囲の植生との関係など)に関する研究
- 共同研究キーワード
- 低ダム群工法や水制工の改良 / 魚道技術の開発